



情報漏洩対策シリーズ

ファイル自動暗号ソフト InterSafe FP すみずみ君 & 個人情報 FP 暗号化ツール かんたん設定マニュアル

アイリスシステムインフォメーション株式会社



目次




1. はじめに	3
1-1. 機能概要	4
動作環境	4
サポート範囲/注意事項	4
2. 導入概要	5
2-1. 導入と実行	6
前提条件	6
導入手順	6
実行	7
2-2. 各種設定変更	9
設定ファイル(sumizumi.ini)の編集	9
実行ファイル(TaskScheduleAdd.bat/)の編集	9

1

1.はじめに

このたびは『InterSafe 情報漏洩対策シリーズ』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe FileProtection(略記 InterSafe FP)のオプション製品である「個人情報 FP 暗号化ツール」の利用方法について説明しています。

本書の内容、および本書で記載している仕様については将来予告なしに変更される可能性があります。また、本書の記述が実際の動作と異なる場合は、実際の動作が優先されます。説明文中の画面例は開発中のバージョンを使用しているため、製品版とは一部表示が異なる可能性があります。

マーク/記号	説明
	補足情報を記載しています。
	注意事項を記載しています。
	関連情報の場所を記載しています。



- 本書は、アルプスシステムインテグレーション株式会社製 情報漏洩対策シリーズ (InterSafe ILP) ファイル自動暗号ソフト InterSafe FP、三菱電機ソフトウェア株式会社製 すみずみ君を導入している事を前提とします。事前に両製品をご購入の上、導入を完了している必要があります。
- 導入に関しては、各製品同梱のインストールマニュアルをご参照下さい。



本機能をご利用になるには、ファイル暗号化ソフト InterSafe FP のご購入/導入が必要です。

1-1.機能概要

個人情報 FP 暗号化ツールとは、すみずみ君で検出した個人情報・機密情報ファイルを InterSafe FP が提供する暗号ファイルに変換するプログラムです。

動作環境

個人情報 FP 暗号化ツールは、PC 上で動作する実行ファイル形式 (exe) となっています。
また本オプションを動作させるには、事前にすみずみ君の導入が必要です。

サポート範囲/注意事項

■動作環境

項目	値
処理対象ファイルサイズ	2GB/ファイル
最大処理ファイル数	1 度に 10,000 ファイル ※ファイルサイズ、ファイル数により、暗号化処理にかかる時間が異なります。

注意事項

- 書き込み不能なファイルは暗号化が失敗しますが、事前チェックは行いません。
- すみずみ君の[自動移動設定]には対応していません。
- 自動移動設定: 検出されたファイルを指定フォルダー配下に移動するオプション
- Shift_JIS、UTF-8 で表現出来ないファイル及びディレクトリ名はサポートしていません。
- その他、FP およびすみずみ君の制限事項に準じます。

2

2. 導入概要

本章ではすみずみ君と個人情報 FP 暗号化ツールの簡易的な利用方法について記載します。

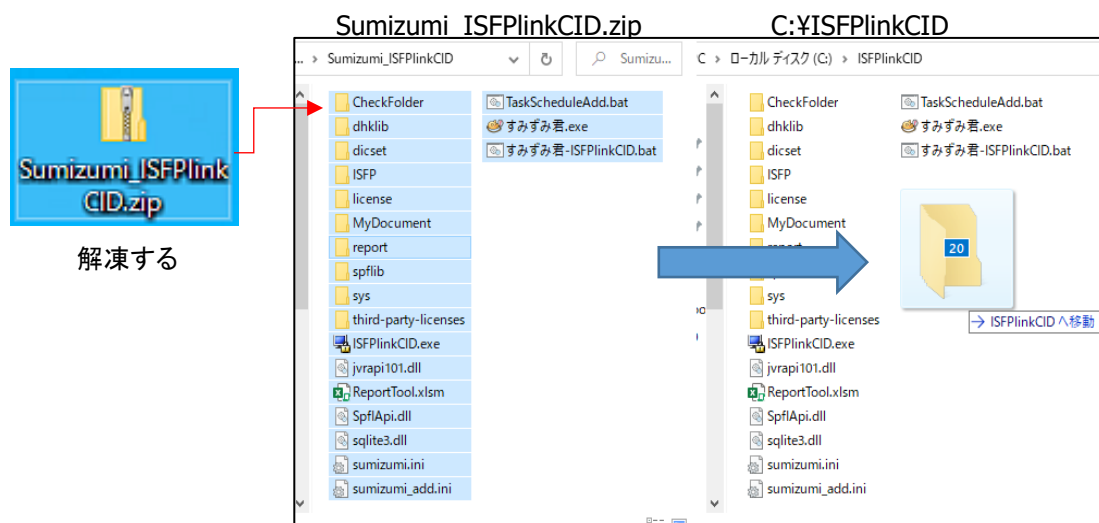
2-1. 導入と実行

前提条件

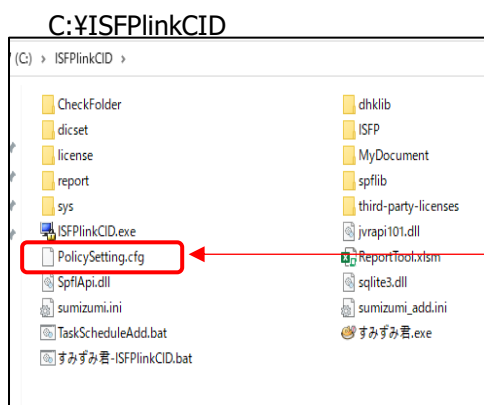
すみずみ君は任意フォルダーへコピーして利用することでき、FP 暗号化ツールもその任意フォルダー内に格納して利用します。本書ではかんたんに設定して動作を確認いただくため、導入先を固定(C:\ISFPlinkCID)フォルダーとしています。動作確認後、必要に応じて、各種フォルダーを変更してご利用ください。

導入手順

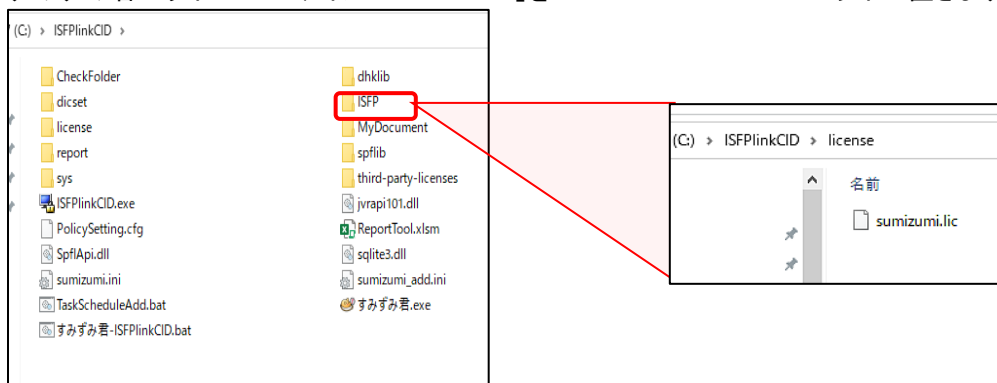
- 1) Sumizumi_ISFPlinkCID.zip を解凍し、製品を動作させる PC の「C:\ISFPlinkCID」フォルダーへ展開します。



- 2) InterSafeManager の [テンプレート] > [ファイル暗号(FP)] 画面右上にある[PolicySetting.cfg]ボタンより PolicySetting.cfg を取得して、C:\ISFPlinkCID へ置きます。



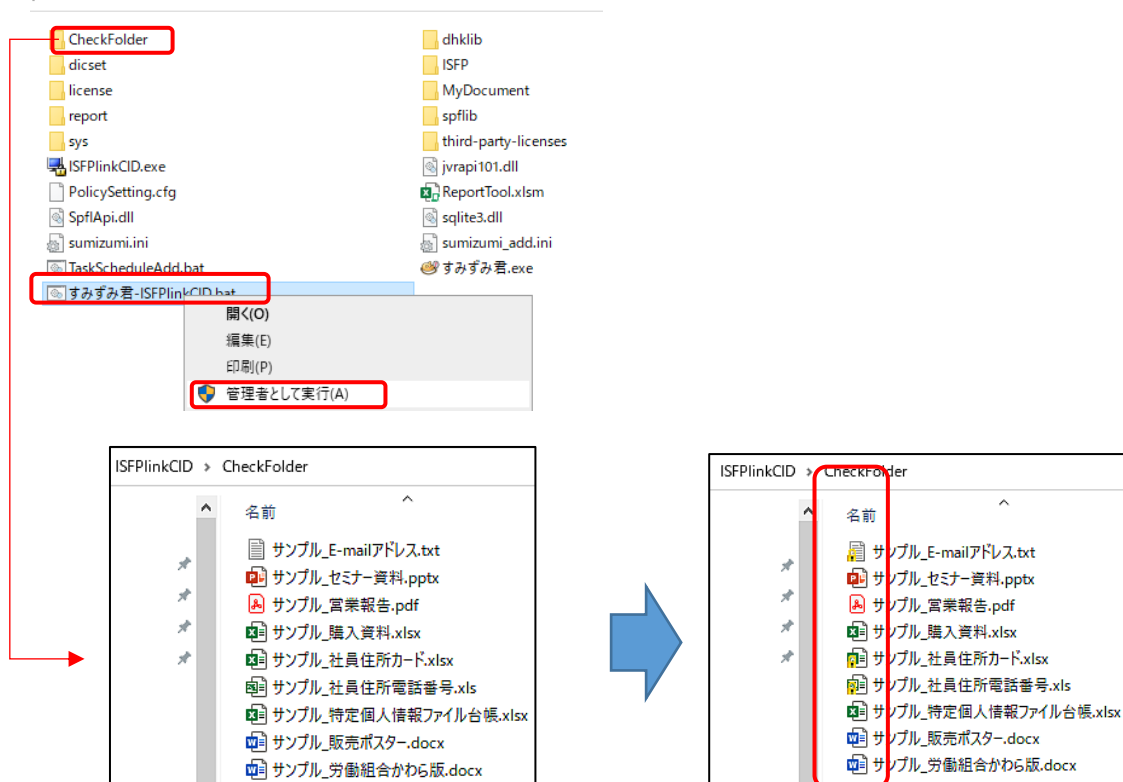
- 3) すみずみ君のライセンスファイル「sumizumi.lic」を C:¥ISFPlinkCID¥license¥以下に置きます。



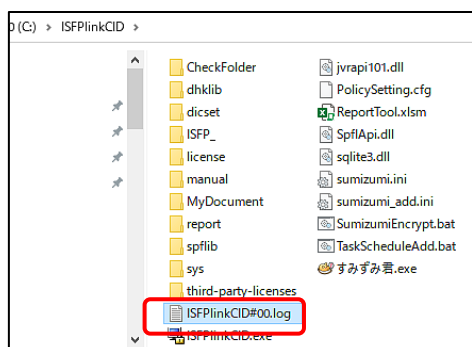
実行

- 1) すみずみ君-ISFPlinkCID.bat を管理者として実行し、C:¥ISFPlinkCID¥CheckFolder¥以下のサンプルファイルのアイコンに鍵マークがつき、個人情報を含むファイルだけが暗号化されることを確認します。

:) > ISFPlinkCID



実行時にエラーが発生すると ISFPlinkCID#00.log などエラーファイルが生成されますので中身を確認して対処して下さい。



<ERROR> [GpTextFile::Open] !_tfopen_s {指定されたパスが見つかりません。(3:0x00000003)}

注意事項

- 個人情報 FP 暗号化ツールを利用している環境にて、InterSafe Workflow/FileTransPorter とすみずみ君を連携する場合、すみずみ君-ISFPlinkCID.bat 内のすみずみ君コマンドライン引数に「--output_directory」を指定する必要があります。

(例)

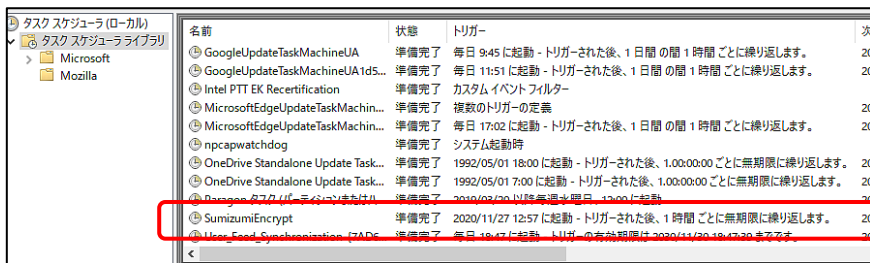
SET SUMIZUMI_OPT=-d "%CheckFolder" --output_directory "C:\ISFPlinkCID\MyDocument" -nw

※「--output_directory」の設定値は絶対パスである必要があります。

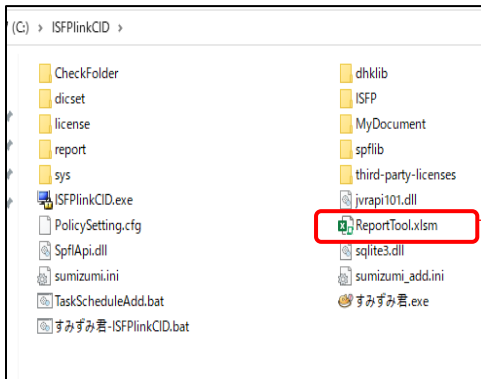
- 2) すみずみ君-ISFPlinkCID.bat はタスクスケジューラへ登録することで、定期実行が可能です。タスクスケジューラには手動またはフォルダー内にある TaskScheduleAdd.bat を必要に応じ編集後、管理者として実行することで、登録可能です。

TaskScheduleAdd.bat ※SumizumiEncrypt というタスク名で1時間ごとに処理するバッチ

```
> schtasks /create /tn SumizumiEncrypt /tr "C:\ISFPlinkCID\すみずみ君-ISFPlinkCID.bat" /sc hourly
```



- 3) ReportTool.xlsm を管理者として実行することで個人情報検査結果報告書も作成可能です。



個人情報検査結果報告書(ファイル検査)

基本情報	
検査コンピュータ名	MORIMO-CLIENT
検査ログインユーザ名	morimo
検査PC IPアドレス	10.10.224.197
検査PC MACアドレス	70-85-C2-77-93-34
検査ソフトウェアバージョン	すみずみ君 Ver3.19.0
検査開始日時	2020/11/26 23:03:29
検査終了日時	2020/11/26 23:03:29

通番	検出日時	検出ファイル	スコア				検出ファイルサイズ	検出ファイル作成日時	検出ファイル更新日時
			名字	住所	TEL	E-mail			
1	2020/11/26 16:16:16	C:\ISFPlinkCID\checkfolder\メールアドレス.txt	18	0	0	21	882	2020/11/26 14:24:44	2020/11/26 16:16:09
2	2020/11/26 16:13:08	C:\ISFPlinkCID\checkfolder\社員住所クレジットカード.xlsx	78	22	0	0	29,882	2020/11/26 16:09:01	2020/11/26 16:09:01
3	2020/11/26 23:03:29	C:\ISFPlinkCID\checkfolder\社員住所電話番号.xls	78	22	21	0	218,112	2020/11/26 16:06:58	2020/11/26 16:08:37

2-2.各種設定変更

設定ファイル(sumizumi.ini)の編集

すみずみ君検索対象フォルダーを変更する場合など、環境に合わせ設定ファイルを変更してください。

■sumizumi.ini ファイル

```
[general]
OutputDirectory=C:¥ISFPlinkCID¥MyDocument
tmp_directory=Tmp
Rotate=0
UseCondition=Screen
DisplayCondition=OFF
MailBoxSearchFunction=OFF
MyIgnoreFileFunction=ON
multi_process=OFF
[Sumizumikun]
Search_Directory=C:¥ISFPlinkCID¥checkfolder
ignore_file=C:¥bootfont.bin/C:¥boot.ini/C:¥bootmgr/C:¥BOOTNXT/C:¥CONFIG.SYS/C:¥hiberfil.sys

~(中略)~

result_file_encoding=UTF-8

~(中略)~

diff_search_output_type=FULL
diff_search_output_directory=C:¥ISFPlinkCID¥MyDocument
diff_search_forced=OFF
my_ignore_file_search_updated=ON
my_ignore_output_directory=C:¥ISFPlinkCID¥MyDocument
one_drive_restore_on_demand_status=OFF

~(中略)~

[ISFP]
PolicySettingFilePath=C:¥ISFPlinkCID¥PolicySetting.cfg
ApplogFolderPath=C:¥ISFPlinkCID¥ISFP¥AppLog
ResultLogFolderPath=C:¥ISFPlinkCID¥ISFP¥ResultLog
```

①すみずみ君の検索結果を保存するフォルダー

②すみずみ君の検索、暗号対象フォルダー

③すみずみ君の検索結果ファイルの文字コード
※UTF-8 BOM 付き(UTF-8W)になっている場合、UTF-8に変更する。

④すみずみ君の検索差分フォルダー
※①と同じ設定推奨

⑤すみずみ君の検索対象外フォルダー
※①と同じ設定推奨

(注意)すみずみ君設定ユーティリティーで sumizumi.ini を生成した場合は、都度[ISFP]タブを記載する必要があります。予め sumizumi_add.ini へ記載内容を保存しておくとう便利です。

⑥ PolicySetting.cfg のフォルダー
⑦ 暗号化アプリケーションログフォルダー
⑧ 暗号結果ログフォルダー

実行ファイル(TaskScheduleAdd.bat/)の編集

- TaskScheduleAdd.bat ※SumizumiEncrypt というタスク名で1時間ごとに処理します

```
> schtasks /create /tn SumizumiEncrypt /tr "C:¥ISFPlinkCID¥すみずみ君-ISFPlinkCID.bat" /sc hourly
```

※ コマンド/パラメータについてはコマンドプロンプト等で「schtasks /？」と入力した結果をご参照ください。

- すみずみ君-ISFPlinkCID.bat ※C:¥ISFPlinkCIDにあるすみずみ君.exeで¥CheckFolder以下のファイルをUI非表示で検査後、暗号化を行います。

```
SET SUMIZUMI_OPT= -d "¥CheckFolder" -nw
~中略~
cd %~dp0
```

※ デフォルトでは、[名字]+([住所],[電話番号],[メールアドレス],[クレジット番号]のいずれか)が21件以上含まれるファイルを検知する辞書を利用しています。

※ すみずみ君のパラメータ、詳細設定については Manual フォルダーにある操作ガイドをご参照ください。

ファイル自動暗号ソフト InterSafe FP

すみずみ君 & 個人情報 FP 暗号化ツール かんたん設定マニュアル

第3版 2023年9月22日

作成/発行/企画 アルプスシステムインテグレーション株式会社

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7

※記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- ・InterSafeはアルプスシステムインテグレーション株式会社の登録商標です。
- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複製することを禁じます。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦下さい。